

モニタリング結果報告書
(令和4年度)

資料1-8①

1. 施設概要

施設名	七沢森林公園		
所在地	厚木市七沢・上古沢・小野		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/nanasawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和63年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	R4.4.1~R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課	都市公園課 (厚木土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応			
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>			
<p>利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとなった。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止により前年を下回り、目標値の達成には至らなかった。目標未達成については、外出自粛も影響していると思われる。しかし、その他の評価項目については良好であった。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理を継続するとともに、利用者のニーズに対応した地域イベントの実施を強化する等、更なる利用者の獲得に努めてもらいたい。</p>			
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 七沢森林公園は、市街地に近いが、森林の中をゆっくり散策できる緑豊かな里山公園である。多くの種類のシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、イベントの会場としても利用される「森の民話館」が人気の施設である。「資源循環型管理の実施」として、公園の間伐材を、土留柵の材料に用いている他、間伐材を炭焼窯で焼き、バーベキューの燃料として100%まかない、トイレの消臭剤にも活用している。炭焼時に出る木酢液は、園路に散布し、コケ除去に活用するなど、この公園独自の工夫を行っている。また、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き等の努力によりヤマビル被害の軽減に努めている点が評価できる。</p> <p>◆利用状況◆利用者の満足度 利用状況は目的達成率92.6%でB評価、利用者の満足度は上位二段階の回答割合が98.2%でS評価となった。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止や悪天候により、前年を下回ったものであり、引き続き利用者の利便性・安全性に配慮した取り組みを進めていく。また、施設の魅力向上のため、施設管理を精力的に行っており、利用者の満足度が高い。</p> <p>◆収支状況 令和4年度の収支比率は101.0%でA評価となった。原油価格高騰に伴う電気代等の高騰による支出の増があった。老朽化が進む設備等の点検を重点的に行い、修繕及び更新により利用者サービスの向上に努めており、良好な収支状況である。</p> <p>◆苦情・要望等◆事故・不祥事等 年間約23万人に利用されている中で、指定管理者に起因する利用者からの苦情・要望がないことは特筆すべきものである。当公園の特色は、自然豊かな森林公園であることから、人工物が少なく、苦情の対象となる施設等が少ないこともあるが、指定管理者が利用者の視点に立った管理運営を日ごろから心がけ、業務を実施していることが伺われる。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、令和4年度の3項目評価については、A評価となった。</p>			

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	A	<p>S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要</p>

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	週に1回程度	県と指定管理者との間でコロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有するとともに、指定管理業務について意見交換した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>神奈川県「未病改善宣言」に賛同し、具体的に取組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未病改善宣言」への賛同、協力、及び公園の施設を活かした健康づくりに関する取組みの実施 <p>自然の中で健康づくりをサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体の健康づくりサポートプログラムの展開、安全安心で快適な空間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の特性に応じた健康推進イベントを開催した。 ①(毎月第2日曜日)森林セラピー体験ウォーク(参加者36名) ②(毎月第3日曜日)ノルディックウォーキング(参加者60名) ・散策路、広場などの維持管理やヤマビル対策を実施した。 	<p>公園の多様な魅力を知っていただく機会となるイベントの開催については、台風により中止した月もあるが、前年度よりも3倍近い参加者数となった。</p>
<p>資源循環型管理のモデルとなる植物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内の間伐材や落ち葉等を木材や炭、肥料等として活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地の間伐や危険木の伐採等により発生した材で、炭窯を活用し木炭や木酢液を生産し、木炭はバーベキューの燃料として、木酢液はコケの駆除に活用した。また、製材した間伐材を案内板や土留め柵に素材として活用した。 ・落ち葉は肥料化施設に搬入し熟成させ、花苗、シャクナゲの肥料として活用した。 	
<p>公園の特性や利用状況等に応じた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設を活用したイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・森のアトリエ ①(毎月第2土曜日)アルプホルン演奏(参加者153名) ②(偶数月第2日曜日)オカリナ演奏(参加者161名) ③(毎月第2・4日曜日)こえだ工作体験(参加者148名) ④(毎月第3木曜日)木工教室(参加者159名) ⑤(毎月第1・3・5日曜日)陶芸体験(参加者401名) ⑥(水・金・土)陶芸サークル(参加者1,194名) ・森の民話館 ①(年4回)マンドリン演奏(参加者157名) 	<p>公園の多様な魅力を知っていただく機会となるイベントの開催については、通年で定期的実施されていた。</p>
<p>年間を通じて賑わう公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに特色のあるイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに森林公園らしい特色のあるイベントを開催した。 ①(12月)森のかけはしクリスマスライトアップ ②(12月)ミニ門松作り(参加者59名) <未実施事業> 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・ななさわ緑のまつり(5月) ・森のまつり(11月) 	<p>大規模イベントの中止については、新型コロナウイルス感染症対策のため、やむを得ない。</p>

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	計画どおり実施した。 令和4年度実績 利用者数6,326人

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	258,785	259,332	228,750
対前年度比		100.2%	88.2%
目標値	302,400	302,400	247,000
目標達成率	85.6%	85.8%	92.6%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	75,291	0	5,798	駐車場：4,739 自販機：1,059	81,089	81,089	0	
	決算	75,291	0	5,986	駐車場：3,411 自販機：1,325 雇用調整 助成金：1,250	81,277	77,069	4,208	105.46%
前年度	当初予算	75,291	0	5,805	駐車場 4,746 自販機 1,059	81,096	81,096	0	
	決算	75,291	0	5,654	駐車場 4,329 自販機 1,325	80,945	79,838	1,107	101.39%
令和4年度	当初予算	78,150	0	4,680	駐車場 3,621 自販機 1,059	82,830	82,830	0	
	決算	78,150	0	4,016	駐車場 3,319 自販機 697	82,166	81,377	789	100.97%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。